

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和5年3月29日（水曜） 9時30分～11時00分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書課会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与・山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外）
論 点	大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	（広報紙の紙面について） ・特集面の項目ごとの帯部分のデザイン変更について、類似する色味が続く場合は、記事の境目がわかりづらいこともあるため、色の違いをはっきりさせるといい。なお、情報量を抑え、余白を活かすと色味はそこまで気にしなくてもいい場合もある。 ・帯の幅を少し調整するだけでもいい。 ・市ホームページへの誘導はわかりやすくなっている。 ・全ての問い合わせ先に市外局番を入れることについては、携帯電話が主流となっている現在に合っている。 ・大阪市民のみなさんへの帯部分のスローガンは、大阪市の全体を包括するような大きな施策であれば、スローガンとして伝わると思われる。内容とのバランスで、帯には何も書かない方がいいという考え方もある。 ・スローガンとキャッチコピーの使い分けは必要である。 ・文字サイズは、“大阪市民のみなさんへ”よりも小さいサイズが適していると思われる。 （次年度事業について） ・ホームページのデザインは、相当なビジュアルを用意しなければそれだけで世間から引っ掛かりをもって見てもらいづらいため、それよりも、心をつかむフレーズや使いやすさをしっかりと考えた方が良い。 ・市民向けなのか市外の人ターゲットなのか、誰目線の広報とするかをしっかりと考える必要がある。 ・若者や他部署の方などにモニター実施をしてもらう等の手法も一つ。
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説 明 等 資 料	
備 考	
関 係 所 属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当